



●玉ノ岡中学校

「授業形態の大きな変化」

ICT活用教育の充実

今年度、玉ノ岡中学校はICT（情報通信技術）活用教育の推進のため、教師用（教材作成用）ノートパソコン3台、教師用（教材提示用）タブレットパソコン3台、生徒用タブレットパソコン40台が配備されました。さらに、各教室に大型テレビが設置され、大画面のモニターとして使用でき、設置していないところでは、持ち運びのできるプロジェクターが使用できるようになりました。また、各教室への無線LANの導入により、ネットワーク環境も充実しています。

このことにより、以前は様々な視覚機器を持ち込まなければ見ることができなかった教材などを、タブレットを一つ持ち込むだけで、非常に手軽にできるようになりました。

なりました。

また、理科や英語をはじめ、いくつかの教科では、指導用にデジタル教科書が購入され、紙ベースの教科書ではイラストや写真でしか示せなかったものが、アニメーションや、動画により具体的に示せるようになりました。

生徒にとってはパソコン室へ移動しなければできなかったインターネット等を用いた調べ学習が、教室でできたり、カメラやビデオ機能を用いて容易に記録や実写ができるようになりました。

左の写真は体育の跳び箱で、自分たちの演技を撮影し、グループでお互いにアドバイスをしている様子です。



「郷土の誇り」 杉山城跡学習会 及び整備活動

玉ノ岡中学校では、毎年1月に、嵐山町文化スポーツ課の職員の方と、杉山城跡保存会の方々の協力のもと、本校の西側に隣接する杉山城跡の整備活動を行っています。

この活動は平成16年に総合的な学習の時間を利用して始まりました。

竹や雑木の伐採や、遊歩道にウッドチップを撒いて歩きやすく整備する活動を学年毎に行っています。また、1年生は、整備活動の前に、学習会として、文化スポーツ課の村上課長や保存会の奥田会長に杉山城の歴史や、保存会の活動を説明していただいています。

ここ数年は、降雪による中止が続いていますが、整備する範囲も大幅に増え、生徒達も貴重な嵐山町の歴史資産の保存、伝統文化の継承に貢献することができ、やりがいを感じながら取り組んでいます。最近では、全国的な城めぐりブー

ムもあり、毎日のように訪れる人がいます。また、県外からの方も多くなり、先日は「北海道で杉山城の話を聞いてきた」と言う人もいました。



嵐山町役場
長寿生きがい課内

地域包括 支援センターです

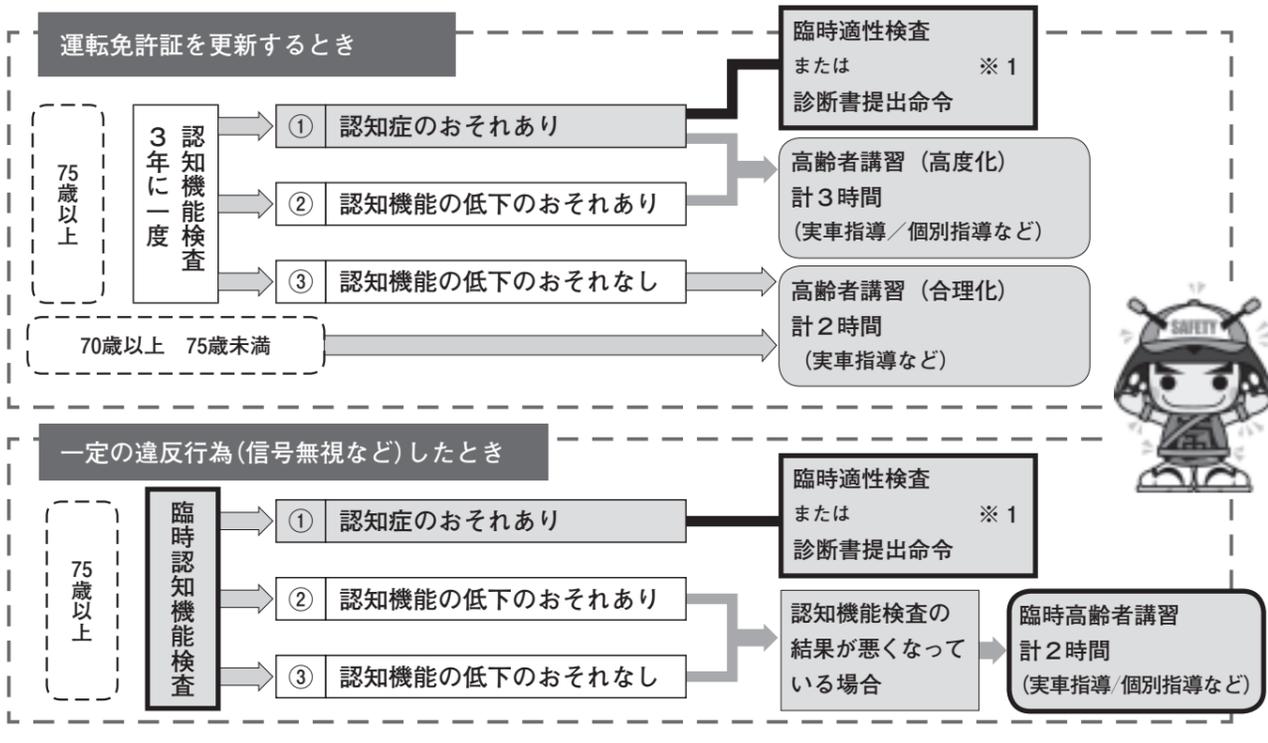
シニアの皆さんの
総合相談窓口！

問合せ ☎62-0718

平成29年3月 改正道路 交通法がスタートします

高齢化とともに、高齢者の交通事故に関するニュースが後を絶ちません。75歳以上のドライバーによる死亡事故は10年前の約2倍に及ぶとも言われ、高齢者が被害者となるだけでなく、加害者となるケースも増えています。

改正後の道路交通法では、リスクの高い運転者への対策として、高齢ドライバーへの対策が推進され、次のような「臨時認知機能検査」や「臨時高齢者講習」などが導入されます。



改正のポイント

- I. 臨時認知機能検査の実施
- II. 上図で①の分類となった人は全て「臨時適性検査」を受けるか、「医師の診断書の提出」が必要
- ※1 医師の診断で「認知症」と判断された場合、免許取り消し等の対象となります。
- III. 高齢者講習の時間・内容が認知機能検査によって変わる



認知症の方への支援制度

認知症ドライバーによる交通事故も増加しており、認知症への理解と対策が急がれております。

町では、認知症の方やその家族が、住み慣れた地域で生き生きと生活できる街づくりに取り組みしております。

高齢者の外出を支援する

- 「高齢者外出支援タクシー利用料金助成事業」
- 「高齢者運転免許証自主返納支援タクシー助成事業」



シニアいきいき講座の様子

- 「徘徊高齢者位置情報探索サービス事業」
- 「ふれあいの会」
- 「コバトンお達者倶楽部」
- 「認知症を予防する」
- 「脳の健康教室」
- 「シニアいきいき講座」
- 「元気はつらつ体操教室」
- 「元気はつらつ口腔教室」
- など

地域で支える

- 「嵐カフェ」
- 「認知症サポーター養成講座」
- 「嵐山町高齢者等見守り活動事業(通称『ミマモリ』)座」

※各事業に関するお問い合わせは、嵐山町地域包括支援センター(役場 長寿生きがい課内)まで